

## 日本骨髄バンクの現状 (2003年8月末現在)

	月	月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,947	1,742	173,998	219,108
患者登録者数	170	172	2,262	14,828
骨髄移植例数	69	56	-	5,056

注) 数値は速報値のため

訂正されることがあります。

### 1 9月28日(日)5000例記念「骨髄バンク推進全国大会」を開催

当財団を介する骨髄移植が5000例に到達したことを記念し、9月28日(日)午後1時30分より、早稲田大学大隈講堂において今年度の全国大会を開催します。

第1部では、主催者挨拶、来賓祝辞、5000例の軌跡報告と感謝状贈呈があります。第2部では、骨髄バンクの設立前にご苦労された患者家族の方々からその体験をうかがいます。ドナーの方、患者さんのあの時この時からをお話いただき、骨髄バンクや治療の変遷をたどるとともに、会場からも体験者にインタビューを行い、舞台と客席を一体化させた大会とします。患者さん、ドナーの方からのメッセージ・エピソードは既にたくさん届いておりますが、当日までお受けします。皆様からのメッセージをお待ちしています。お問合わせ、提出は当財団 広報渉外部

E-mail: [toroku-volun@jmdp.or.jp](mailto:toroku-volun@jmdp.or.jp) FAX: 03 - 5280 - 0101

#### 対面について -

全国大会におけるドナーと患者の対面については、9月5日に開催された国の造血幹細胞移植委員会において審議され、今後もこの課題は継続審議されることとなり、委員会で一定の方向が出されるまでは、財団独自の決定で対面の実施はしないこととなり、今回の対面は中止となりました。

委員会委員から出された意見、質問、疑問等に対しては、当財団として対応いたします。今後は委員会の審議を見守り、委員会の議論をもとに決定いたします。なお、9月20日(土)の常任理事会でも、今後の方針について審議する予定です。

### 2 10月は骨髄バンク推進月間。関係者の皆様のご協力をお願いします。

国の定める「骨髄バンク推進月間」が、本年度より10月となりました。全国各地で登録会を計画の皆様、どうぞご協力をお願いいたします。

財団では毎年、推進月間に新規ポスターを制作しています。今年度は公共広告機構の広告と連動し、夏目雅子さんの第3作目を準備中です。テレビやラジオ、新聞雑誌、地下鉄の電飾看板などとメディアミックスでの広報は効果が期待されます。また、ドナー登録時にご覧いただく説明用のビデオの改訂版も間もなく出来上がります。来月初めには、登録各機関、関係者へお届けできる予定です。

### 3 「移植希望患者へ寄付依頼」の新聞報道について

9月1日付共同通信配信記事(移植希望患者へ寄付用紙を配布、「脅迫と同じ」)が、1日夕刊と2日にかけて、日本経済新聞、全国のブロック紙、地方紙に大きく取り上げられました。患者さんへの情報提供として、また年二回発行している骨髄バンクニュースを送付の際に、郵便振替用紙(寄付用紙)がセットで挿入されています。過去数年間、このニュース送付では、ドナー登録者、登録患者、ご寄付者、医療・行政関係者、問い合わせ者等、全ての方々にこの取り扱いをしてきていたものです。

患者さんの登録時の説明書には「寄付は強制でない旨を明記」しており、そもそも募金活動は、患者さんの負担軽減を目指して行っているものです。高額な患者負担金が存在する制度がベースとなっている問題です。関係者の皆様には、何卒、当財団の真意をご理解いただきたいと思います。今回の新聞報道は、一方的で誠に残念で遺憾です。今後、この取扱いは、慎重に検討してまいります。詳しい事実経過、募金の考え方、取り組み状況等は、ホームページをご覧くださいませようお願いします。

(<http://www.jmdp.or.jp/whatsnew.html>)

### 4 「平成16年度概算要求」コーディネート体制等の充実へ増額要求

8月末に、厚生労働省から財務省に対し、来年度の概算要求が行われました。骨髄バンク(当財団への国庫補助金)は、あっせん業務関係事業費が、専任コーディネーターの増員、通信運搬費の増額等により、約9千万円増額され3億4千3百万円へ、普及啓発事業費は、1千4百万円増額され5千4百万円へ、低所得者の患者負担金減免対策費が、9百万円増額され5千4百万円へ、とそれぞれ増額要求されています。なお、日本赤十字社が行っているHLA検査は、全面的にDNA化する予算が計上され、ドナー登録受付費用も初めて計上されました。行政担当部局、骨髄バンク推進議員連盟など関係各方面の皆様のご理解により増額要求されたものと感謝しております。なお、12月の政府原案予算の編成にあたって、一層のご支援をお願いいたします。

### 5 8月のドナー登録状況。ドナー登録会開催すれども登録数は伸び悩み。

8月のドナー登録者数は1742人、取消者数は556人、実質増加数は1186人で前年同月の登録者数の91.3%と前年を割り込む結果となりました。登録会は91回実施され(うち献血併行型は88回)、合計678人の方にご登録をいただきました。東京では13回、福島9回、北海道8回、愛知、京都各6回など多数の登録会が開催されましたが、そのほとんどが献血併行登録会だったため、ドナー登録数が0人の登録会が4回、2桁に達したものが25回と回数割には登録人数の伸びはありませんでした。一方、沖縄では30人を超える登録会もあり4回の登録会で80人の実績があり、また東京、静岡においても20人を超える登録会がありました。献血併行登録会における状況分析が今後の登録数増加につながりそうです。

## 6 ホームページをリニューアルオープンしました。

9月10日、当財団のホームページがリニューアルオープンしました。(http://www.jmdp.or.jp/)

公開する内容、機能は従来と大きくは変わっていませんが、利用する皆様にわかりやすく、使いやすい、探している情報が見つけやすくするよう心がけて制作しました。今後も、皆様からのご意見、ご希望を取り入れながらさらに改善を重ね、日々完成度を高めていきたいと考えています。お気づきの点、ご意見は広報渉外部、E-Mail [Webmaster@jmdp.or.jp](mailto:Webmaster@jmdp.or.jp) 電話：03 - 5280 - 8111までお寄せください。

## 7 読売新聞「骨髄提供の意思無駄にしないで」の投書について

9月10日付の読売新聞に「骨髄提供の意思無駄にしないで」の投書が掲載されました。投稿者は子育て中のドナー候補者で、夏期休暇や年末年始のコーディネートを望んだところ、こうした時期には病院側では移植を行っておらず、希望時期が先であることからコーディネート中止を事務的にコーディネート側から伝えられたことに、骨髄バンクの受け入れ態勢の不備と対応の悪さを訴えるものでした。

今回の投書に同調するご意見、質問が内外から寄せられましたが、当財団では、これらのご意見を真摯に受け止め、職員をはじめコーディネーターなどが、十分な説明や心のこもった対応をするよう、現場への情報提供し、研修会などでドナーの方へ対応を再確認したいと考えております。

なお、投書されたドナーの方へは、さまざまな制約の中でドナーコーディネートが行われるため、ドナー登録者にご不便をかけていること、説明が十分ではなかったことをお詫びし、いただいたご意見は今後活かしていくことを電話にてお伝えして、ご理解いただくことができました。

## 8 財団各委員会など開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局までお申込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	9/20(土)10:00～12:00(廣瀬第2ビル3階会議室)
ドナー安全委員会	非公開	9/20(土)13:30～16:00(廣瀬第2ビル3階会議室)
常任理事会	公開	10/25(土)16:00～18:00(廣瀬第2ビル3階会議室)
普及広報委員会	公開	10/28(火)18:00～21:00(廣瀬ビル会議室)